

例会報告

11月は「ロータリークラブ財団月間」です

第2224回例会報告議事録

日時 23年11月22日(火曜日)

場所 ホテル マークワン 我孫子

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト: サジーワニー・ディサーナーヤカ様

(松戸西 RC・米山奨学生)

メルビン様(ご主人)

中村俊人様(柏東 RC)

会長挨拶

志賀会長



すばらしご詠歌大会を見て参りました。3月10日に千葉県の大会有ります。3月11日が震災の一周年なので、追悼式をやろうということで準備をしております。

17日の酒井会員の通夜、皆様方ご苦勞様でございました。私は17日に帰ってきたもので、18日の告別式に行参りました。厳かな立派な曹洞宗の葬儀でした。

今日はスリランカのサジーさんがいらしています。私の少林寺拳法の門下生がスリランカで道場を開いています。今度また行く時に寄付しようと思っています。

親睦奉仕委員会報告

小池親睦委員長



来週29日にゴルフ大会、夕方6時から夜間家族例会を湖北南口のボアロという所で行います。

ゴルフは12名、夜間例会は24名の出席予定を頂いております。

来月12・13日の修善寺への忘年旅行は今のところ17名参加です。楽しく進めたいと思いますので、よろしくお願い致します。

出席報告

渡辺出席委員長

18名出席 (全員で27名) 出席率66.7%

幹事報告

米田幹事

・例会変更のお知らせ

柏西 RC

12月23日(祝・金) 祝日休会・30日(金) 任意休会

平成24年1月6日(金) 夜間例会(家族新年会)

・12月のロータリーレート 1ドル=78円

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
中村俊人様 (柏東 RC)	いつも米山奨学生をお世話いただきましてありがとうございます。本日も卓話のお時間を頂きまして感謝致します。	3,000円
小池会員	インターシップ受け入れ無事に終了することができました。皆様のご協力ありがとうございます。	1,000円
塩毛会員	11/15・16日に浜松のYAMAHA工場見学に行ってきました。	1,000円
鈴木会員 野田会員	米山、中村会員とお会いでき感謝。	1,000円
丸田会員	インターシップ無事終了致しました。	1,000円
当日計		7,000円
今期累計		118,000円

ご挨拶

米山奨学会 地区委員 中村俊人様(柏東 RC)



貴重な時間を30分もいただきましてありがとうございます。

我孫子東のインターシップを開催していただきありがとうございました。これからも若い人達に機会を与えられればと思っております。

毎年毎年、米山奨学生を受け入れていただき、ありがとうございます。

本日私とお邪魔させていただいているのは、千葉大で勉強しながらボランティアでスリランカの人々の為に色々な活動されているサジーさんとご主人のメルビンさんです。

米山は私は4年目になり、次年度は次の人達に譲ることになるのですが、カウンセラー等も含め、まだまだ米山と関わっていきたいと思っています。

地域とのふれあいがどう出来るかということが大事だ、とクラブ内でも出ており、我孫子さんが一緒に活動してくださるのは大変心強いと話しています。

卓話

松戸西RC米山奨学生 サジーワニー ディサーナーヤカ様



地区委員及び我孫子ロータリークラブの会長様、
ロータリークラブの会員の皆様、
こんにちは、はじめまして。

子供のころから苦しかった道がロータリー奨学金で明るくなりました

ロータリアンの皆様のおかげで、ロータリー米山奨学金をいただき、大学院で勉強させていただいていることを心より感謝申し上げます。皆様方の大事な寄付金のおかげで大学の研究をもっともっと進めることができております。ロータリー奨学金は私にとっては大変な宝物です。

ロータリー奨学金をいただき、松戸西クラブや他のロータリークラブの方々とお会いできたこと大変嬉しく思います。今年の5月から奨学金をいただきました。私は今まで奨学金をいただいたことがなく大変困っておりました。ずっと雨が降らなかった砂漠に急に降りだした雨のように、米山奨学金を頂きました。言葉では、言い表せないほど皆様方に感謝しております。

私はこれから2年間皆様方のお世話をいただきながら、松戸西クラブの例会に参加させていただきます。また、ロータリークラブの皆様方と交流を深めていきたいと思っています。
米山奨学生としてできるだけ、ロータリーの活動に協力することをお約束致します。
ロータリークラブや地域で開催される活動に関心を寄せ、また、スリランカの文化も伝えていきたいと思っています。

ロータリー奨学金が終わっても皆様方との交流を大切に続けたいと思います。
ロータリーの奨学金がなければ私は今博士課程にも進学できなかったかもしれません。
ロータリアンの皆様とロータリークラブは私にとっては本当に神様のような存在です。スリランカの親も貧しいため日本での生活費や授業料などを払うことができない時に、ロータリー奨学金で大学の授業料を払うことができ、とても助かっております。本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。

博士論文の調査の段階から、論文を提出するまで、ロータリー奨学金は私にとって役に立っています。スリランカに帰ったら、博士課程の勉強ができる大学がないため、どんなに困ったことがあっても一生懸命に研究を続けていきたいと思います。できるだけ日本で勉強して帰りたいと思います。

私は、日本とスリランカのよい関係が続けるために、また、スリランカの日本語教育のために役立ちたいと思います。ロータリー奨学金のおかげで私は充実した学生生活をおくることができ、地区委員の皆様、ロータリアンの皆様には大変感謝しております。

私は子どものとき、家庭が貧しかったことから、日本人の里親に奨学金をいただきました。その奨学金が日本語を勉強することに興味を持つきっかけにもなりました。その奨学金は、私の勉強のために必要であり、学用品も全部いただけて、私の勉強を支えてくれました。長い時間雨が降らなかった砂漠に急に降りだした雨のような奨学金の大切さは、言葉で言い表すことができません。そのご恩に報いるために一生懸命勉強してきました。そして、いつのまにか日本に興味を持ちました。日本人には経済的な豊かさだけではなく、心の豊かさがあるのだと感じたからです。スリランカの大学を卒業後、日本人の里親のおかげで留学するチャンスができました。高校と大学では日本語を専門として学び、大学へ行きながらスリランカの男子校の日本語の教師として教えていました。

私の留学の大きなきっかけとなったものは、やはり2002年に国際交流基金の奨学金を頂いてスリランカの日本語教師代表として参加した、研究プログラムだと言えます。短期のプログラムであったために、深い知識までは得られなかったものの、日本語教育と日本文化についての知識を深めるためには、日本への留学が必要であるということをこのプログラムから強く感じました。スリランカの大学には、日本語を専門的に研究するための設備と参考文献が不十分であり、また修士・博士課程においてそれらを指導できる教官がいらないという問題もあります。私はいつかスリランカにおいて日本語教育と日本文化の教師となり、両国のための架け橋となる存在になりたいと思います。

日本に留学したため、日本語教育についてより深く勉強したいと思い、千葉大学の文学部の日本文化学科で、日本語教育と日本文化について2年間研究しました。それから、千葉大学人文社会科学研究科（地域文化形成専攻）で修士課程を修了しました。このように日本で勉強できたことは私の人生でもらった一番大事なことだと思っています。また、貧しくても日本語を勉強したいという気持ちが強かったので、せっかく日本に来て修士課程修了まで頑張ったので、もっと研究を深くしたいと思い博士課程にも進学しました。博士課程では、日本語だけではなく、もっと深く言語学について研究を続けたいと考えています。

日本へ留学したら、物価の違いで経済的に困りました。しかし私は自信を持って勉強を続けました。その支えになったのも日本でできたたくさんの友人の方々のおかげです。ロータリー奨学金のおかげで一生懸命に勉強することに深く感謝しております。

また、博士課程に進学し、言語学専門の指導教員の先生の心の優しさが私の人生でいつまでも忘れられません。先生方が私たちを指導する過程に素晴らしいさを感じました。素晴らしい先生方に恵まれていることは、私が今後教員になったときに生かされていくことだと思います。私はスリランカでは子供の時から先生をととても尊敬していました。日本に来て日本人の先生方は神様と同じだとよく感じました。

千葉大学に入学して、一生懸命勉強したにもかかわらず、修士課程を卒業するまで奨学金をいただくことができませんでした。何度も大学の留学生センターにもお願いをしましたが、なかなか奨学金をいただくことは難しかったです。国の親も経済的に大変貧しいため、私の学費や生活費を払うお金を送ることはできません。

(次ページへ続く)

悩みがたくさんあったけれども、いつか仏様と神様が見てくれるはずと考えており、一生懸命に勉強しました。スリランカの子どもたちの教育に支援する日本の里親や、日本で出会ったお友達のおかげで、無事に修士課程を卒業することができました。今までいくら困ったことがあっても一生懸命に勉強してきたのだから、博士課程にも進学し、研究を続けようと考えました。研究を始める前に、色々な奨学金について調べてみたところ、米山ロータリー奨学金について出会うことができ大変嬉しく思いました。ロータリー奨学金に採用されたら、奨学金をいただくことだけではなく、世話クラブやカウンセラー、ロータリアンの方々と一緒に交流もできて、日本文化やいろいろなことについて知ることでもできると思いました。

貧しい国から留学した、貧しい家庭の私にとってはロータリーの神様が見てくれました。ドキドキしながらロータリー奨学金の受験や面接に行き、面接を受けた時にいらっしゃったロータリアンの方々の顔を見て大変驚きました。

ロータリークラブにはこのようなご親切な方々がいらっしゃると思って、ロータリー奨学金に採用されたらこのような素晴らしい方々に恵まれると考えました。日本人には経済的な豊かさだけではなく、心の豊かさがあるのだと感じました。

私が信じている仏様と神様が見てくれてロータリー奨学金試験に合格することができてとても嬉しかったです。それから、地区委員や私の世話クラブのカウンセラーを紹介してくださいました。私の日本での留学生活ではこのような素晴らしい奨学金をいただいてとても幸せです。私は出席しているお世話クラブや地区委員の皆様、私のカウンセラーが私にとっては神様の存在です。毎回例会に参加しております。日本の文化やロータリーのマナーなどたくさんのことを勉強できています。

私のカウンセラーの方も私の本当のお父様と同じようにいつでも私の面倒を見てくださいます。ロータリー奨学金をくださって私の留学生活はどんどん幸せになっております。今まで経済的に大変困っていたので大学の学費など払うことができなくてとても大変でした。ロータリー奨学金をいただいてから何も困ったことがなくとても幸せに研究を続けております。米山奨学金をくださったことに対して、ロータリアンの皆様には心より感謝申し上げます。

これからも、私のカウンセラー、地域委員、クラブの皆様のおかげでいろいろなロータリークラブとネットワークをしながら研究を続けたいと思います。いつか、国に帰っても米山ロータリー奨学金のことを一生忘れません。博士課程を卒業してもロータリークラブの方々の関係を維持しながら日本とスリランカのかけ橋になりたいと思います。ロータリークラブの皆様は心より感謝申し上げます。皆様のご多幸と仏様の御加護がありますようにお祈り致します。これからも宜しくお願い申し上げます。

卓話

メルビン様



私は日本に8年位前に来て、日本語学校で勉強して、日本文化や色々な事を学びました。そんな中で、スリランカの貧しい子ども達のために何かできないかと考えていました。日本の色々な方と出会い、その方達と、妻と同様、貧しい家庭の100人位の子ども達のために支援しています。

5年位前から、茨城、千葉、埼玉、栃木、東京等の小中学校の子ども達にスリランカのことや、目上の方達を尊敬することの大切さ等を教えています。

貧しいというのは運命だと思っています。貧しくても何か目的があり、それを成し遂げたいという気持ちを持っている人達を日本の素晴らしい方々と応援しようと思っています。

私ができることがあれば、どんなことでもやります。2006年には、新潟に雪下ろしに行きました。我孫子ロータリークラブの皆様も、何か私にできることがあれば喜んで参加したいと思っていますので、よろしくお願い致します。

上村晃一会員より

米山奨学会は奨学生を成績だけで決めるのではなく、スリランカのこの方達のように本当に勉強したい方達を選ぶべきだと思います。

中村俊人様より

中国国籍と言っても、ウイグル人です、という方もいたりするので、国籍で一括りにするのはどうかという考え方もあります。

大学の事務局にもよりますが、米山への理解が少ない所もあります。それでも申し込んでくる学生は沢山います。これから新しい学生の書類が50人分また来ます。書類だけだと皆さん優秀です。あとは面接をして短期間でどう選ぶかです。そこはしっかり、伝えておきます。ありがとうございました。

ロータリーの友 事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。